

人気沸騰！ 彩の国シェイクスピア・シリーズ

今年は1月からの「コリオレイナス」に続き、まもなく「恋の骨折り損」が上演される。2作品では稽古場見学やバックステージ・ツアーなどの企画も催され、またこれまでのシリーズで使用された衣裳や舞台装置の模型なども公開中。さまざまな面から、改めて彩の国シェイクスピア・シリーズの魅力に注目が集まっている。

『恋骨』必勝法
今からでも間に合う、



「恋の骨折り損」と聞いて「あー、シェイクスピアのあれね。」と思った人はよほどの通人。ほとんどの人が「なに？それ」でしょう。そこで、この珍しいお芝居の楽しみ方を、少しでもご紹介いたしましよ。題して「今からでも間に合う、『恋骨』必勝法」。

まず、キーワードを二つ。

最初は「恋」。なにしろ主要な登場人物16人中、なんと11人が恋をするのです。これはシェイクスピアの作品でもダントツの割合（ただし成功率は？）。しかも劇の冒頭で四人の貴族が「女性にうつつをぬかさず勉強します」宣言をしようにも拘わらず、なのですから。そんな彼らの恋の行方に大注目。

次は「ことば」。もともとシェイクスピアの登場人物たちはよく喋る、と言われていますが、この劇中の人たちはそれに輪をかけて喋りまくります。また、膨大な語彙、卓抜な修辞を駆使して、恋を囁き、相手を攻撃し、自己を弁護し、真情を吐露し、そして自分自身に陶醉し

てゆくのですから。そんな彼らのことば遣いにも大注目。

このお芝居は、若きシェイクスピアがその持てる才能と作劇術の限りを尽くして書き上げた、いわば意欲作なのです。実は彼は続編として「恋の骨折り損」という芝居を書く予定だったとか。登場人物たちのめくるめく台詞回しに酔いながら、決して見ることでできない続編に思いを馳せてみるのも一興なのではないでしょうか。

彩の国シェイクスピア・シリーズ第17弾

『恋の骨折り損』

【日時】3月16日(金)～3月31日(土)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演出】蛭川幸雄 【作】W.シェイクスピア 【翻訳】松岡和子

【出演】北村一輝、姜暢雄、窪塚俊介、高橋洋、内田滋、月川悠貴、中村友也、須賀貴匡ほか

【チケット(税込)】 残席僅少
S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 学生席2,000円

彩の国シェイクスピア・シリーズの多彩なイベントも好評

出演者、スタッフの真剣な様子にドキドキワクワクした 「コリオレイナス」の稽古場見学会

1月12日に行われた「コリオレイナス」稽古場見学会では、埼玉県在住の観客、そしてメンバーの方約30名が、蛭川演劇の稽古の現場を見学。出演者、スタッフともに集中の途切れることのない稽古を見つめた参加者からは、「出演者の皆さんの力のこもった姿勢が本番につながっていく」「一つの舞台を作るのは、いかに大勢のスタッフによって支えられているか」などの声が聞かれ、それぞれにさまざまな発見をしながらの充実した時間となった様子でした。



普段見ることのできない舞台裏を垣間見た 「コリオレイナス」のバックステージ・ツアー



1月28日公演終了後、バックステージ・ツアーを実施。まず、舞台監督白石さんの案内で、舞台裏の様子や大道具の仕掛けなどを見学。普段見ることのない舞台裏には、衣裳や小道具などが機能的に並べられ、効果的な舞台転換のための様々な工夫がなされていることもわかりました。つ

づいての舞台美術家中越さんのお話では、舞台美術家の役割や蛭川さんとのやりとり、今回の舞台美術の意図などが解説されました。参加した30名からは熱心な質問も多く出され、舞台を知る貴重な体験となりました。

今や彩の国シェイクスピア・シリーズの名物 さいたまアーツ・シアター ライヴ!!

彩の国シェイクスピア・シリーズでお馴染みの「さいたまアーツ・シアター ライヴ!!」。1月23日から行われたコリオレイナス公演の際にもライブを実施しました。プラス、Wヴァイオリン、ピアノ、ソプラノ、笙といったバラエティに富んだ編成で、一度は耳にしたことのある名曲や出演者自らが作曲した曲などを、開場前の30分間、劇場情報プラザなどで演奏したものを。観劇に訪れた多くの方々は、すばらしい演奏を思いがけず聴くことができ、感激した様子。このライブは、もちろん「恋の骨折り損」公演でも行われます。



『恋の骨折り損』公演期間中なら誰でも見学できる

彩の国シェイクスピア・シリーズ企画展示

今、彩の国さいたま芸術劇場ガレリアと情報プラザには、第1弾「ロミオとジュリエット」(1998年)から第15弾「間違いの喜劇」(2006年)までを舞台写真等によって振り返るパネル展示のほか、舞台美術家中越さん製作の舞台模型や小峰リリーさんデザインの手縫い舞台衣裳、演出助手、井上尊晶さんが使用した上演台本や香盤表が展示されています。連日、開演を待つ人たちが興味深そうに足を止めています。

この企画展示、「恋の骨折り損」上演期間中(～3/31)開催されており、どなたでも自由にご覧になることができます。

